

2025年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞

オレンジスマイルいちかわ実行委員会

【設立年月日】2021年10月

【授賞理由】

当該団体は、「認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい市川をつくる」という理念の下、認知症当事者・家族・支援者・地域住民等がともに交流できるラン&ウォークイベントをはじめとする、地域に根差した活動を永年にわたり行ってきました。また、さまざまな活動をとおして、誰もが安心して暮らせるまちづくりに大きく貢献してきました。これらの取り組みは、認知症ケア賞（実践ケア賞）の受賞に相応しいといえます。

【団体概要】

2018、2019年は、認知症理解啓発イベントとして全国開催されている「RUN伴」（RUN伴ちば市川）として活動しました。この2年間の活動を振り返り、認知症の人を含む高齢者や障がいや生きづらさを抱えている人たちなど、多様な人たちが関わることのできるイベントとして新たにスタートを切ることとし、2021年に市川・船橋市民有志で「オレンジスマイルいちかわ実行委員会」を設立しました。医療・介護・福祉分野の専門職、地域住民有志、千葉商科大学人間社会学部の学生など、10～60代の多様なメンバーで構成され、「認知症の人と一緒に誰もが暮らしやすい市川をつくる」という理念の下、年1回開催するイベント「オレンジスマイルいちかわ」の企画運営を行っています。

【事業活動】

1. 2021年にオレンジスマイルいちかわ実行委員会を設立し、「認知症の人と一緒に誰もが暮らしやすい市川をつくる」という理念の下、年1回市川市内3コースをタスキで繋ぐラン&ウォークイベントである「オレンジスマイルいちかわ」を開催
2. 市川市認知症カフェ登録事業として、2023年から年6回「オレンジスマイルカフェ」（認知症カフェ）を開催
3. 認知症啓発活動の一環として、「オレンジおばけ」というアカウントで、認知症の基礎知識やケアのポイント、介護サービスなどをテーマにしたSNSを発信

【業績等】

地域情報番組「ジモトトピックス」において、私たちの活動が取り上げられました。この放映を通じて、地域住民への認知度が向上し、より多くの人々とのつながりを生むことができました。さらに、地域新聞にも私たちの活動が掲載され、地域社会における私たちの役割やイベントが広く知られることとなりました。

【活動内容等】

私たちは、市川市や市内職能団体の後援、千葉商科大学・ニッケコルトンプラザや高齢者サポートセンター認知症地域支援推進員の協力、地元企業や個人賛同者の協賛を得た産学官民連携活動として「オレンジスマイルいちかわ」を企画運営しています。また、イベント開催だけではなく、認知症カフェも開催することで、市川での認知症ケアの拠点のひとつとしての役割を担い、認知症の人を含む高齢者や、障がいや生きづらさを抱える人たちにとっても、安心して住み続けることができるやさしいまちづくりに向けた社会貢献活動を行っています。そのほか、ちばSDGsパートナー登録も行っています。

今後の活動予定は、オレンジスマイルいちかわ2025の開催と、関連イベントとしてオレンジスマイルカフェの開催、認知症サポーター養成講座開催を予定しています。また、市川市チームオレンジとしての活動もいたします。

さまざまなイベントや活動を通じ、地域とのさらなる絆を深めていけるよう努めてまいります。